

特別企画：「新型コロナウイルス関連倒産」動向調査 6月2日 16時現在判明分

2023年の累計は1094件 ～ 新型コロナ関連倒産 5926件 ～

6月2日は新たに9件の新型コロナウイルス関連倒産（法的整理または事業停止（銀行取引停止処分は対象外）、負債1000万円未満および個人事業者を含む）が確認された。その結果、同日16時現在の新型コロナウイルス関連倒産は全国で累計5926件（法的整理5599件、事業停止327件）となった。負債1億円未満の小規模倒産が3535件（構成比59.7%）を占める一方、負債100億円以上の大型倒産は11件（同0.2%）にとどまっている。

【発生時期別】年別では、2020年が835件、2021年が1737件、2022年が2260件、2023年が1094件。月別では2023年3月（267件）が最多。2023年1月（233件）、2023年4月（226件）が続く

【業種別】居酒屋を中心とする「飲食店」（872件）が最も多く、「建設・工事業」（755件）、「食品卸」（304件）、「食品小売」（246件）が続く。製造・卸・小売を合計した件数は、食品が714件、アパレルが399件となっているほか、ホテル・旅館、旅行業、観光バス、土産物店などの観光関連事業者は367件

【都道府県別】「東京」（1012件）、「大阪」（623件）、「神奈川」（335件）、「福岡」（314件）、「兵庫」（273件）の順で、同5都府県（2557件）で全体の43.1%、関東1都6県（2138件）で全体の36.1%を占めている



